

講義名	商法		授業形態	
担当教員	河野 総史		開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限
	単位数	2	履修開始年次	2年生
			ナンバリング・コード	LAW280

主題と概要

本講義では、商法総則・商行為分野を中心に、商取引全般について学ぶ。私法の一般法として民法が存在するが、商人の世界を規律する商法が、民法をどのように修正しているかを中心に学習する。

到達目標

民法（一般法）を商法（特別法）がどのように修正しているかを学ぶことで、一般市民の世界と商人の世界とで重視しているものの違いを理解することを目標とする。

提出課題

毎回小テスト（講義の理解度チェック）を実施する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

小テストについては次の講義回で講評を行う。

評価の基準

小テスト20点、期末試験80点の、合計100点満点とし、60点以上を合格とする。
小テストも期末試験も、レジュメの持ち込み有りとする。

履修にあたっての注意・助言他

法律の学習は、法律の暗記を意味するものではありません。何故そのようなルールがあるのかを理解することが重要ですから、考えながら受講することを意識して下さい。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

講義レジュメを配布する。

授業計画

- 第1回 講義イントロダクション 商法とは
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第2回 商法と民法・商法と商事特別法
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第3回 商人概念・商行為概念
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第4回 商法の適用範囲
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第5回 商業登記
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第6回 商号
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第7回 名帳簿人
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第8回 営業譲渡
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第9回 商業使用人
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第10回 商事売買
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第11回 仲立ちと取次ぎ
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第12回 運送営業
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第13回 増資営業・匿名組合
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第14回 倉庫営業
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第15回 総まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本学のディプロマポリシーの、「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」を育成することを念頭に講義を実施する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

事例（判例）を題材に、適宜グループワークをしてもらう予定である。

実務経験の有無及び活用

備考

30分以上の遅刻は欠席扱いとなりますので注意して下さい。